

構造システム研究室

卒業生ならびにご関係の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

2025年度は、新たに北原優（きたはら・まさる）准教授を迎え、教員2名、寺岡秘書とあわせてスタッフ3名体制となりました。学生は修士2年3名、1年1名、学部4年5名が在籍し、研究に打ち込んできました。研究テーマとしては、実構造物を対象に振動データ点群、橋梁の点検記録を活用したモニタリングや性能評価、さらには不確定性を考慮して力学モデルとデータを融合させた、構造物の信頼性解析・モデル更新手法の開発に取り組んでいます。学生の研究成果は学内外で評価されており、構造工学シンポジウム優秀講演賞、土木学会北海道支部優秀学生講演賞（2名）、そして北海道大学地方学（じがたがく）賞を受賞しました。共同研究やプロジェクトなどで協働していただいた皆様や、研究室の活動をご支援くださった皆様に改めて感謝申し上げます。最新の活動状況については、研究室のウェブサイトをご覧ください。

2026年度は4月上旬に卒論生の配属が決まり、博士1年1名、修士2年1名、1年3名、学部4年5名となりました。また、6月28日～7月1日には当研究室が中心となり、国際会議「第10回信頼性工学とリスクマネジメントに関する国際シンポジウム（ISRERM2026）」を北大学術交流会館で開催いたします。ご関係の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

研究テーマやスタッフ、学生が入れ替わっても、研究室は卒業生の皆様が帰る場所であり続けますので、札幌や北大にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

